

長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実績

平成17年度

事業名	事業額	事業目的・内容
集落防災計画策定事業	1,750,000円	中越大震災では地域コミュニティの大切さが改めて見直されている。本事業により地域コミュニティの基礎単位である集落の防災体制を整備し災害に強い小国地域づくりを進める。

平成18年度

事業名	事業額	事業目的・内容
おぐに地域フラワーパーク助成事業	453,255円	集落内の空き地等を利用し、花壇作りを行う。花壇の箇所数・面積・レイアウト・花の種類などは自由とし、300本以上の花の植栽を事業の対象とする。
高齢者介護予防対策事業	743,476円	介護予防の重要性が増した中高年者に対し、効果的な運動の機会を提供することにより、健康づくり・介護予防の意識向上を図り、元気高齢者を増やし健康寿命を延ばす。また、リーダーとなる運動指導者と共に、地域での自主活動を支援し活性化を図ることで、いつまでも元気で自立した生活をすることを目的とする。
長岡市おぐに森林公園林間再生計画作成事業	984,624円	検討委員会を設置し、森林公園にある林間を再生し、手入れされた緑の森づくりのための計画づくりと、そのために必要な試験的な活動を専門的にすることを目的とする。

平成19年度

事業名	事業額	事業目的・内容
法末神楽舞等文化財記録保存伝承事業	2,289,659円	地域に密着してきた伝統芸能を見直し、後世に語り継ぐため、継承がいっそう困難になる前に映像として保存し、伝承するための方策を模索する。

平成20年度

事業名	事業額	事業目的・内容
森林公園芝生植栽・山野草園拡充事業	1,411,520円	おぐに森林公園第一林間広場は、公園開園当時は芝生広場であったが、現在は芝が消失してしまっている。安全な芝生広場を甦らせるとともに、山野草園の整備をすすめ、森林公園の魅力を高めて誘客を図る。
「もっと知りたい」事業・実頼編	500,844円	大河ドラマの放送を期に、地域の歴史に目を向ける歴史講演会及び歴史シンポジウムを開催することで、地域を理解し、愛する心を育み、新市一体感醸成に寄与する。

平成21年度

事業名	事業額	事業目的・内容
小国芸術村特別展「紙漉き」体験・交流事業	368,235円	無形文化財「小国紙」発祥の地、山野田地区において、紙漉き実演や体験教室の実施による特別展を開催し、地元小学生との体験交流から地域芸術文化の発展と振興を図る。
森林公園芝生植栽・遊歩道魅力づくり（案内看板設置）事業	1,396,055円	平成20年度の継続事業として実施。あわせて「天地人」ゆかりの小国城跡までの遊歩道に案内看板を設置し、おぐに森林公園の魅力を高めて誘客を図る。

平成21年度

事業名	事業額	事業目的・内容
法末野営場里山づくり 体験事業	323,044円	<p>地元中学校が実施する地域貢献活動の協力を得て、法末野営体験広場の遊歩道整備や芝植え管理、果樹の植樹など自然体験学習環境整備を行い利用者の増加を図る。</p> <p>また、地元の方からの聞き取りによる手作り図鑑の作成など地域住民との交流や里山づくりによる地域の魅力再認識を促す。</p>

平成22年度

事業名	事業額	事業目的・内容
小国芸術村特別展 「衣人紙舞台」事業	486,360円	<p>無形文化財「小国紙」発祥の地、山野田地区において、和紙と古紙を融合させた展示会や催しによる特別展を行うもの。地方から都市への地域文化の情報発信及び都市交流を行うとともに、小国文化の魅力を高める。</p>
小国の魅力発信事業	1,543,500円	<p>小国地域専用のWEBサイトを開設し、きめ細かい観光情報や文化的行事等を発信することにより、小国地域の魅力を世界に発信する。</p> <p>住民主体の地域情報発信事業として、2ヵ年事業の初年度として取組む。</p>

平成23年度

事業名	事業額	事業目的・内容
<p>小国芸術村特別展 「紙の使い手」小川原 めぐみ作品展事業</p>	<p>559,485円</p>	<p>無形文化財「小国紙」発祥の地、山野田地区において、和紙と古紙を融合させた展示会や催しによる特別展を行うもの。地方から都市への地域文化の情報発信及び都市交流を行うとともに、小国文化の魅力を高める。紙工芸作家小川原氏が、屏風、灯り、コラージュ、額、軸などに仕立てた作品を展示。併せて小国地域3小学校を小川原氏が巡り、小国手すき和紙を使った作品作りの特別授業を行い、児童に自分の手で作ることの楽しさや地元小国紙をより身近に感じる感性を育む。</p>
<p>小国の魅力発信事業</p>	<p>594,300円</p>	<p>小国地域専用のWEBサイトを開設し、きめ細かい観光情報や文化的行事等を発信することにより、小国地域の魅力を世界に発信するため、拡充コンテンツの整備を行う。 ※住民主体の地域情報発信事業として移行するため継続事業として取組む。 ※24年度以降の運営については「小国観光協会よっていがんかい」が行う。</p>
<p>これからの医療と福祉 を考えるシンポジウム 地域委員分科会提案 ※分科会協議案件について事業化。</p>	<p>784,035円</p>	<p>小国地域では、人口の減少とともに少子高齢化が急速に進行しているため、高齢化が進む中で地域の暮らしや健康を守り、医療環境を維持していくことが大きな課題となっている。地域におけるこれまでの医療や福祉環境の変遷を踏まえ、小国地域が抱える医療・福祉・保健の現状と課題を共有し、今後の方向性を考える機会とするため、広く地域住民の参加を募り地域医療等への理解を深めるためシンポジウムを開催。</p>

平成24年度事業予定(案)

事業名	事業額	事業目的・内容
小国芸術村企画展事業	960,000円	無形文化財「小国紙」発祥の地、山野田地区において、和紙と古紙を融合させた展示会や催しによる特別展を行うもの。地方から都市への地域文化の情報発信及び都市交流を行うとともに、小国文化の魅力を高める。
高齢者元気支援事業	605,000円	高齢化が進行している小国地域で住民と関係者が参加するワークショップを企画、開催し、現状を自分たちの問題として捉え、多様な人との新たなつながりを築く場とする。また、いつまでも自立した生活ができるための筋力や認知症を予防するけんこつ体操教室の充実や、地域型介護予防デイサービス修了後の受け皿づくりを、「協働」の視点で取り組み高齢化しても元気な小国地域を目指す。
元気な小国を育てる事業	465,000円	<p>食に関する講演会とウォーキング大会を実施することで各自が食生活を振り返ると共に、体を動かすことの心地よさを実感し運動を始める動機付けの機会としたい。また、体育功労者と優秀競技者賞の表彰を併せて行いスポーツに取り組む幅広い世代へ向けた激励の場としたい。</p> <p>当日の参加者を増やすための工夫や次年度以降も事業を継続して実施するために、企画段階からアドバイザーや他団体との意見交換を行う等役割分担を図りながら、健康づくりの気運を広めたい。</p>